



2021-09-01

Bio Eによりバリアコーティングが完全な脱化石化へさらに前進

ホルメン・イグスンドは、再生可能な原材料を75%使用し産業用堆肥化処理に認可されているバリアコーティングソリューション「Bio E」でコーティングされたペーパーボード（板紙）を発売いたします。

プラスチックの使用量を減らしてカーボンフットプリントを改善したいと考えている多くの食品・飲料ブランドにとって、ペーパーボードのパッケージングソリューションは歓迎すべき変化となっています。これはサステナビリティという点では非常に大きな進歩ですが、食品を保護するためにペーパーボードに貼合されているバリアコーティングは、依然、化石原料を使用したプラスチックを主原料としています。

しかし今日のホルメン・イグスンドは、75%が再生可能な原材料から作られたバリアコーティングであるBio Eをご提供しております。「旧世代のバイオベースのバリアは、再生可能な原材料の割合が約30%だったので、Bio Eは大きな改善をもたらします。さらに、Bio Eは産業用堆肥化処理としても認可されています」と、ホルメン・イグスンドの付加価値製品部門製品マネージャーであるペール・ベリルンド（Per Berglund）氏は語ります。

Bio Eは、完全に化石原料を含まないバリアコーティングを開発するための継続的な取り組みにおける大きな一歩であり、従来のプラスチックベース（PE）のバリアコーティングで達成されていた堅牢性、安全性、機能性に全く引けを取りません。

このバイオベースのコーティングは、耐水性と耐油性を備えています。欧州および米国FDAの食品接触に関する要件を満たしているため、あらゆる種類の食品包装に適しています。Bio Eはまた、電子レンジでの使用も認められています。

Bio Eは、数種類のホルメン・イグスンド製ペーパーボードと組み合わせて提供されています。「Bio Eのような堆肥化可能な代替品があれば、PEベースのコーティングでサステナビリティへの取り組みを妥協する必要はありません。」

詳しくはこちらでご紹介しています。 iggesund.com

お問い合わせ先
付加価値製品部門製品マネージャー ペール・ベリルンド（Per Berglund）
Tel: +46 (0)768 635 067 per.berglund@holmen.com

HOLMEN
IGGESUND